

作本想真 マルハン北日本カンパニー野球部

専修大学

経営学部 経営学科卒

私は「プロ野球選手になる」という目標を掲げ、大学野球でレギュラーとして活躍することを強く決意して専修大学に入学しました。しかし、入学してすぐに、先輩方のレベルの高さや、東都大学野球リーグという舞台のレベルの高さに圧倒されました。

専修大学には、私の尊敬する先輩が2人、ドラフト1位でプロ入りし、他のレギュラークラスの先輩たちも大企業のチームで全国大会に出場するなど、非常にハイレベルな環境がありました。私自身も「絶対に負けたくない」という強い気持ちで、毎日必死に練習に励みました。しかし、怪我や技術不足もあり、4年間、自分が思い描いていたような大学野球生活を送ることはできませんでした。

それでも、専修大学で過ごした4年間で学んだこと、監督やコーチから教わったことが私の大きな自信につながり、「もっと上を目指したい」という気持ちが一層強く芽生えました。過去は変えられませんが、「この4年間があったからこそプロになれた」と胸を張って言える人生を築こうと、社会人野球の道を選びました。

そしてご縁をいただき、今年創部されたマルハン北日本カンパニーの野球部でプレーさせていただいています。社会人野球を続ける中で、私が意識していることが2つあります。

1つ目は、「常に準備ができている状態をつくること」。2つ目は、「習慣を大切にすること」です。

いつでも最高のパフォーマンスを発揮できるように心がけ、習慣では、特に「朝の時間の使い方」を意識するようにしています。この意識と習慣を継続することで、少しずつ結果が現れ始めました。

JABA日本代表候補選考会に招集されたり、東北代表の選抜チームに選んでいただいたりと、貴重な経験をさせていただいています。

今振り返ると、「諦めずに野球を続ける」という選択をして本当に良かったと心から思います。

そして何よりも、私を育ててくれた家族、これまで野球を通して出会ったすべての方々、そして大学時代にサポートしてくださった皆様のおかげで、今の自分があると強く感じています。その感謝の気持ちを忘れず、目標を叶えることで恩返しができるよう、これからも精一杯努力を続けていきます。